

改定版

交番・駐在所等の機能充実・強化プラン

令和 7 年 3 月
京 都 府 警 察 本 部

はじめに

京都府警察は、安全で安心なまちづくりの拠点としての交番・駐在所のあり方について、平成15年11月、「警察署等のあり方を考える懇話会」における「地域に密着した交番・駐在所づくり」などが盛り込まれた答申や、平成16年12月に策定された「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」における「交番・駐在所機能の充実・強化による地域防犯力の向上」という施策展開の方向性などを受け、平成18年7月に「交番・駐在所等の機能充実・強化プラン」（以下「旧プラン」という。）を策定し、府民の皆様にお示ししました。

旧プランに基づいた交番・駐在所等の整備や府民協働による防犯活動等を推進した結果、令和6年中の刑法犯認知件数は、12,059件（前年比+ 174件）と、過去最多であった平成14年の5分の1以下まで減少させることができましたが、令和5年10月に警察庁が行った治安に関するアンケートでは、約7割の方が、ここ10年間で日本の治安は「悪くなったと思う」と回答しており、深刻化する治安情勢や人口減少等の社会の変化、国民・府民の多様なニーズに的確に対応するため、警察組織には体制・運用のあり方の最適化が求められています。

こうした中、より安全で安心なまちづくりを進めていくためには、府民の皆様との取組の成果を確認しながら、治安情勢や社会の変化に対応できるよう従来の枠組や考え方を発展・深化させていく必要があるところ、京都府警察は、旧プランが示した「地域における交番・駐在所のあり方」を踏まえつつ、治安情勢や社会の変化、地域の実態等に応じて交番・駐在所の機能を充実・強化できるよう、この度その内容を改定し、府民の皆様にお示しするものです。

今後も治安情勢や社会の様々な変化にも的確に対応するため、府民の皆様や関係機関・団体のご理解・ご協力を得ながら、交番・駐在所等の整備や、その機能の充実・強化を段階的に進めることで、地域の防犯力を高め、将来にわたってより高い水準の治安を府民の皆様を提供し続けてまいります。

目

次

1	地域における交番・駐在所のあり方	．．．．．	1
2	情勢の変化や多様なニーズに対応できる交番・駐在所をめざして	．．．	1
	(1) 交番・駐在所の整備	．．．．．	1
	(2) 交番・駐在所の運用	．．．．．	2
3	地域とともにある交番・駐在所であるために	．．．．．	3

1 地域における交番・駐在所のあり方

交番・駐在所は、地域住民の身近な所にあり、そこに警察官が勤務して、パトロールによる犯罪等の未然防止や事件・事故等への対応など地域住民の暮らしの安全を守る活動をしています。

また、それら警察活動に加え、交番・駐在所を拠点とした「府民協働防犯ステーション活動」を始めとする地域住民との協働活動や地域住民の自主活動によって、治安のバロメーターである刑法犯認知件数は、旧プラン策定当時と比較して大きく減少しました。しかしながら、依然として地域住民の体感治安の改善に至っていないほか、少子高齢化・人口減少による防犯ボランティアの高齢化・固定化、地域コミュニティの希薄化など、地域社会を取り巻く課題も指摘されています。

このような中、安全・安心なまちづくりを目指し、地域住民の不安感を解消するためには地域防犯力を強化させることが重要であり、引き続き交番・駐在所が拠点となって、地域住民や関係機関・団体、事業者等との重層的な協働関係を築くとともに、情勢の変化や地域住民等の多様なニーズにも対応できるよう交番・駐在所機能の充実・強化を不断に推し進める必要があります。

2 情勢の変化や多様なニーズに対応できる交番・駐在所をめざして

変化し続ける情勢に的確に対応しながら地域社会の安全を守るため、拠点となる交番・駐在所は、

「広域性」… 交番・駐在所の受持区域を越えた運用など

「機動性」… パトカー、移動交番車等車両の機動力を活かした運用など

「柔軟性」… 地域環境に応じた交番・駐在所の整備、先端技術の導入など

を基本的な考え方として、その機能の充実・強化を進めます。

(1) 交番・駐在所の整備

交番・駐在所は、より多くの方々と協働できる安全・安心の拠点となるよう設置場所や体制、装備等を検討・見直ししながら整備を進めます。

ア 地域の安全・安心の「よりどころ」となる交番・駐在所をめざします

▷ 新設

人口増加・都市化の進展によって事件・事故の発生等が急増している地域には、犯罪等を未然に防止するパトロールの強化や事件・事故、相談等への適切

な対応を図るため交番・駐在所を新設します。

▷ 統合・移転

交番・駐在所に勤務する警察官を効率的かつ適正に配置するため次のような場合を、統合・移転の目安とします。

- 老朽化等に伴う現地建て替えより、その機能の充実・強化や地域住民の利便性の向上等が期待できる場合
- 交番・駐在所が受け持つ区域の人口（世帯）や、事件・事故の発生等の減少など地域の実情や犯罪情勢に変化が見られる場合
- 勤務する警察官の安全面や事件・事故等への対応力が向上するなど、現場体制の強化が期待できる場合

イ 地域環境に応じた交番・駐在所をめざします

交番・駐在所の設置の必要性がある場合には、公共施設やマンション、スーパー等民間施設の一部の活用も検討するほか、地域に溶け込んで警察活動を行う駐在所の機能に事件・事故等への対応力を備えた駐在型交番など、地域の環境に応じた多様な交番・駐在所の整備を進めます。

ウ 地域の安全・安心を守る頼もしい交番・駐在所をめざします

地域住民の期待と信頼に応えられるよう、交番・駐在所に勤務する警察官の事件・事故等への対応力向上など人的基盤の強化に努めるとともに、警察車両や防犯カメラの配備に加え、人工知能や情報通信技術等の先端技術等の導入など、交番・駐在所の装備・資機材の整備を多角的に進めます。

(2) 交番・駐在所の運用

交番・駐在所は、より多くの方々のニーズに応えられるよう地域の治安情勢や実態を踏まえながら運用します。

ア 地域に密着した「わがまちの交番」をめざします

交番・駐在所の受持区域が、「子ども・地域安全見守り隊」を始めとする様々な地域防犯ボランティア活動と連携しやすいよう、地域の活動単位である自治会（元学区）の区域を分断しない運用を進める一方で、複数の自治会（元学区）が協働する地域や、自治会（元学区）は異なっても生活圏が同一となる地域などは、地域住民の利便性や地域防犯力の維持・強化を考慮した運用を進めます。

イ 地域住民の期待に応える交番・駐在所をめざします

地域住民は、犯罪や事故のない安全で安心できる地域社会の実現を期待していることから、次のように交番・駐在所やパトカー等を重層的に運用しながら犯罪等の未然防止のためのパトロールや事件・事故等への対応力を強化します。

- 複数の交番・駐在所の受持区を統合し、勤務員の体制を強化した上で、統合区域のパトロールや事件・事故等への対応を行うブロック運用
- 地域住民に身近な交番・駐在所を警察署パトカーの拠点とする運用
- 治安情勢や地域のニーズに応じた場所等に移動できる機動性があり、相談や諸願届等の受理のほか、防犯・警戒活動の拠点機能も有する移動交番車の運用
- 本部パトカーによる交番・駐在所への支援

ウ 地域に根ざす交番・駐在所の運用

交番・駐在所と地域住民との連携をより強固なものとするには、地域の実情や特性（環境）を踏まえた運用が欠かせません。交番・駐在所に勤務する警察官とともに地域の安全・安心の一翼を担う交番相談員を効果的に運用するほか、とりわけ昼間帯に同じ警察官が勤務する日勤制交番は、地域住民との関係がより深化し、地域防犯力の維持・強化につながるという効果も認められることから、地域の実情や特性を踏まえつつ、その運用を進めます。

3 地域とともにある交番・駐在所であるために

「安全で安心な地域社会」を実現するには、地域の皆様の協力が不可欠です。交番・駐在所が地域住民、関係機関・団体、事業者等との協働活動の拠点であり続けられるよう着実に取組を進めます。

(1) 地域の誰もが利用できる交番・駐在所の環境づくりを進めます

交番・駐在所には、バリアフリー機能のほか、地域住民や関係機関・団体等との会合等で利用できるコミュニティールームを整備するなど、地域の方々が気軽に立ち寄れる環境づくりを進め、地域の防犯拠点としての機能や地域社会との連携を一層強化します。

(2) 「安全で安心な地域社会」をめざして地域とともに歩みを進めます

このプランは、「安全で安心な地域社会」をめざして地域防犯力を強化し、将来にわたってより高い水準の治安を地域社会に提供し続けるために改定したものです。

本プランに基づいた交番・駐在所の整備・運用については、地域の皆様のご理解を得ながら進めることを基本とするとともに、プラン内容についても、情勢の変化等に応じて、その都度、必要な見直しを行っていくこととします。